

日本赤十字社神奈川県支部
赤十字防災セミナー開催要領

1. 目的

本セミナーは、地域住民の防災・減災に関する知識・意識・技術の向上、地域において災害時に応急対応にあたるリーダー層の育成、地域におけるコミュニティ形成への寄与などを目的として日本赤十字社神奈川県支部（以下、「支部」という。）が指導者（防災教育事業指導者）を派遣して開催するものです。

2. カリキュラム

(1)本セミナーのカリキュラムは次のとおりです。

カリキュラム名	形態	内容	所要時間
ア. 災害への備え	講義	実例を通して災害について知るとともに、平時から準備すべきことを理解する。	30～60分
イ. 読み物による過去の災害の追体験	演習・グループワーク	大規模災害の被災者の経験談を通じて、被災の具体的なイメージを理解し、災害への備え・心構えを考える。	120分程度
ウ. 地域防災マップづくり	演習・グループワーク	自分の住む地域での災害発生の危険性や防災資源を把握・理解し、個人や地域で行うべきことを考える。	120分程度
エ. 家具安全対策ゲーム	個人・ペアワーク	地震で起こる被害をどのように減らすか、自宅（部屋）の平面図を描くことにより、危険な場所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。	30分程度
オ. おうちのきけん (小学5・6年生対象)	個人ワーク	地震による「おうちの中のキケン」を理解したうえで、いのちを守るための家具の安全対策について考える機会を提供する。	45分程度
カ. ひなんじょたいけん	演習・グループワーク	大地震における避難所生活の一部をイメージした避難所を作るカードゲームを通して、避難所運営者ではない「避難者の目線で心がける事柄」のように避難所における「自助」、「共助」の力の向上を支援すること。	90分程度

(2)開催を希望する団体の主催者（以下、「主催者」という。）は、次の組み合わせからセミナー内容を選択してください。

- ①ア. 災害への備え
- ②ア. 災害への備え＋イ. 読み物による過去の災害の追体験
- ③ア. 災害への備え＋ウ. 地域防災マップづくり

- ④ア. 災害への備え+エ. 家具安全対策ゲーム
 - ⑤ア. 災害への備え+カ. ひなんじょたいけん
 - ⑥オ. おうちのきけん (小学5・6年生対象)
- ※上記以外の組み合わせについては応相談。

3. 受講対象者

本セミナーの対象者は、原則として地域住民を対象とし、町内会・自治会から小学校区程度を事業展開の基本区域とします。

4. 申請から開催までの流れ

- (1)主催者は、開催を希望する日の1ヵ月前までに「赤十字防災セミナー開催申請書」(様式1)を支部に提出してください。
- (2)最少催行人数は原則として10人以上とします。
- (3)申請を受理した支部は派遣する指導者を選定します。その後、主催者と指導者で打ち合わせを行います。
- (4)カリキュラムの内容によっては、資料の作成等の事前準備が必要となることがあります。
- (5)開催を中止する場合、土日祝日を除く3日前までに必ず支部にご連絡ください。また、災害や荒天、感染症の流行等により受講者及び指導者の安全が確保できないと思われる場合は、開催を取りやめる場合があります。

5. 役割

- (1)開催にあたって主催者は以下の役割を担います。
 - ア. 会場の準備
 - イ. 参加者の把握
 - ウ. 指導者との打ち合わせ
 - エ. プロジェクター・パソコン・スクリーン等の必要備品の準備
 - オ. 配布資料の印刷
 - カ. 地域防災マップづくりに必要な地図の準備
 - キ. 支部から借用した物品の返送及び返送料の負担
- (2)支部は以下の役割を担います。
 - ア. 指導者の選定及び派遣に係る費用の負担
 - イ. 指導者との連絡調整
 - ウ. 支部から貸与する物品の配送及び配送料の負担
- (3)指導者は以下の役割を担います。
 - ア. 主催者との打ち合わせ
 - イ. 主催者の要望に応じたセミナー構成の検討
 - ウ. セミナーの指導
 - エ. 赤十字防災セミナー実施報告書(様式2)の提出(支部へ1週間以内)

附 則

- この要領は、令和4年4月1日から施行します。
- この要領は、令和6年10月1日から施行します。